

備前市事務事業評価表

事務事業名	造林事業		コード	04-01-02-04
			担当課・係	農林水産課・管理係
			担当者	大道 健一
			電話	0869-64-1831
事業実施期間				
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり		
	中項目(基本施策)	豊かな食を支えるまちづくり		
	小項目(施策)	林業		

事業について	
目的 (何のために)	森林環境の保全に資するために、森林整備の推進を図る。
対象 (誰・何を対象に)	森林所有者、森林利用者
内容	造林事業を実施した者やボランティアによる植栽や保育等した者に対し援助を行う。

事業の結果			
実施項目	17年度	18年度	
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
苗木の支給団体	2 件	3 件	
造林事業補助金交付者	0 件	0 件	
事業費 (単位：千円)	事業費	財源	事業費
	直接事業費 616 国庫補助金等 221	直接事業費 535 国庫補助金等 210	直接事業費 0 国庫補助金等 0
	人件費 646 委託費負担 0	人件費 348 委託費負担 0	人件費 0 委託費負担 0
	合計 1,262 市債 1,041	合計 883 市債 673	合計 0 市債 0

必要人員	0.15 人	0.04 人	
結果指標名	苗木の支給団体数	苗木の支給団体数	
結果指標量	2	3	
単位	件	件	
対前年比	—	150.00%	0.00%
活動にかかるコスト	円	329,000 円	円
単位当たりコスト	円	109,666 円	円
結果指標名	造林事業補助金交付者	造林事業補助金交付者	
結果指標量	0	0	
単位	件	件	
対前年比	—		
活動にかかるコスト	円	円	円
単位当たりコスト	円	円	円

事業の成果		
どのような成果を得ようとしているか		
成果指標名	式又は説明	
	17年度	18年度
成果指標量		
対前年比	—	
到達目標値		到達目標年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等： 備前市造林事業補助金交付要綱	妥当性評価<A~E> D
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	過去に植林した山林がそのままのため、整備していく必要がある。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> C
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	県が補助する造林事業に対し、補助金を交付しているが、造林事業者が実施しやすいように見直ししていく必要がある。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> D	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	市民に事業の内容を情報提供し、周知する必要がある。

平成19年度状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明
目標値	結果指標量	結果指標量	

総合評価	今年度も補助対象がいなかったため、今後とも森林組合等と連携し、事業を増やす必要がある。	評価区分 <A~E> D
------	---	--------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	平成19年度で廃止・完了
--------------	---	--	--------------

平成20年度以降の改善事項	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
	有効性	事業内容を周知する。		造林事業を行うことにより、森林の整備が図れる。